

2016年3月期第2四半期決算説明会

2015年11月20日



NDKグループ

日本電設工業株式会社

I . 会社概要	2
II . 2016年3月期第2四半期決算概要	3
III . 部門別概況	10
IV . 2016年3月期業績予想等	22

4本の柱で全国に事業展開

- 鉄道電気工事におけるリーディングカンパニー
- 技術と信頼で創立から73年
- JR東日本との強固な関係

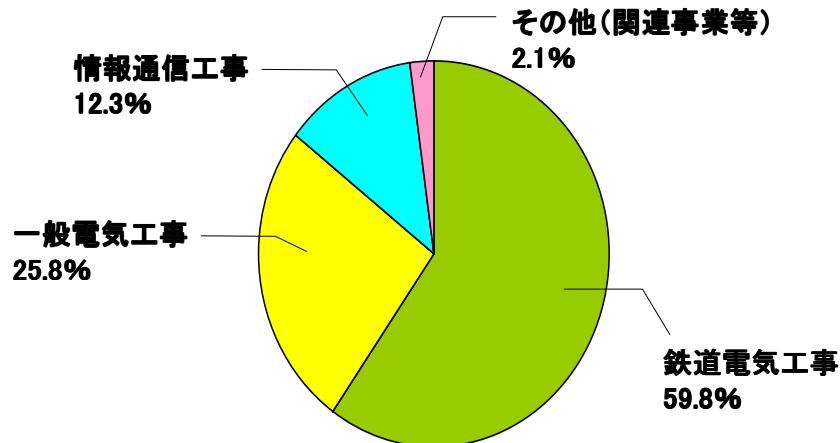
【部門別売上高構成額】

(単位:百万円)

4本の柱 (部門)	2016年3月期 第2四半期売上高	うち、JR東日本に 対する売上高
鉄道電気工事	28,795	23,794
一般電気工事	12,406	1,081
情報通信工事	5,947	3,457
その他(関連事業等)※	1,034	10
合計	48,184	28,344 (58.8%)

※「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、
ソフトウェアの開発および電気設備の設計等

【部門別売上高構成比率】



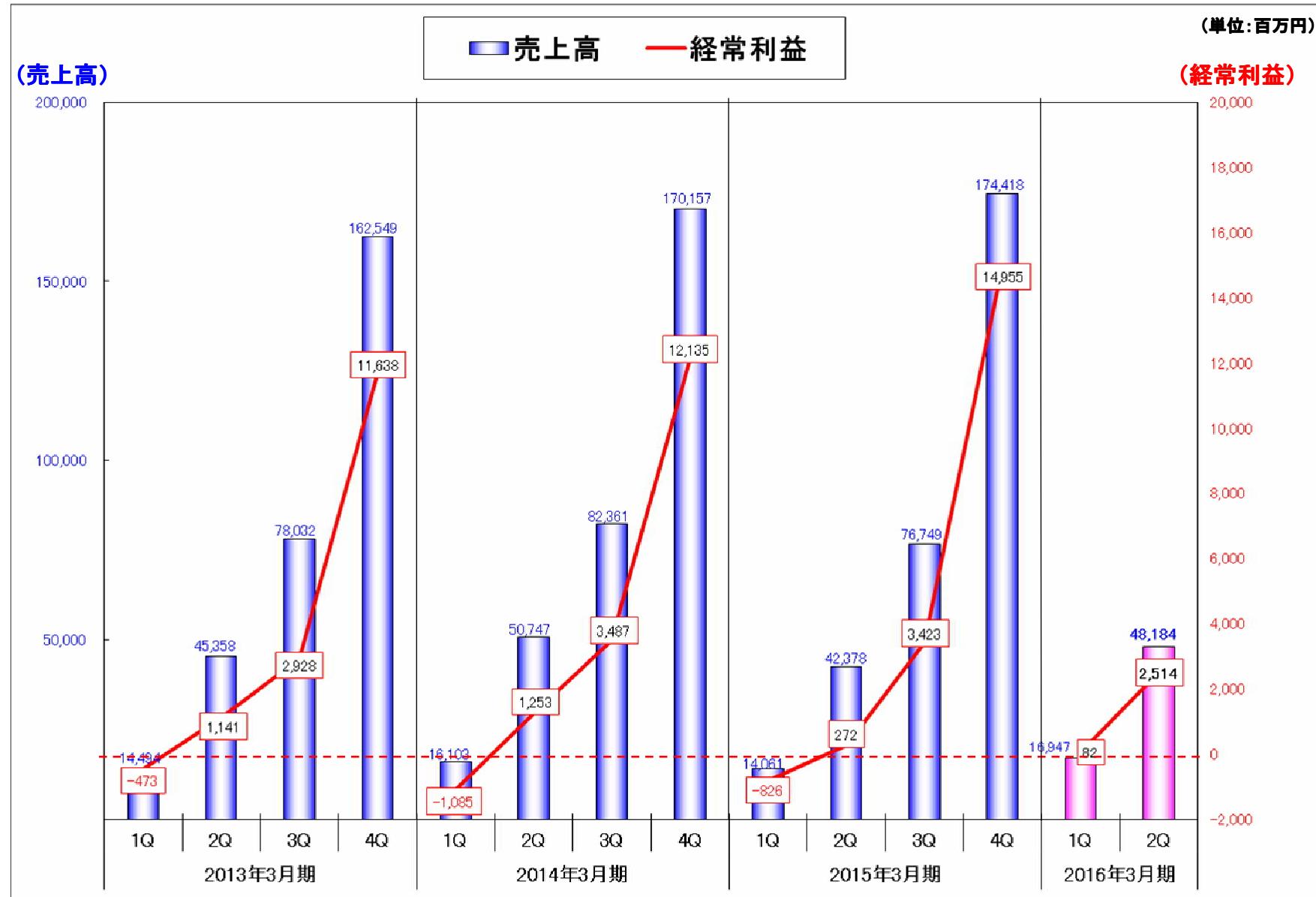
■決算のポイント

当第2四半期の受注高は652億円(前年同期比100億円増)、
売上高は481億円(前年同期比58億円増)、経常利益は25億円
(前年同期比22億円増)となり、増収増益となりました。

(()は売上高比率、単位:百万円)

	2015年3月期第2四半期	2016年3月期第2四半期	対前期比	
受注高	55,267	65,250	18.1%	9,982
売上高	42,378	48,184	13.7%	5,805
売上原価	(87.1%) 36,900	(83.8%) 40,376	9.4%	3,476
売上総利益	(12.9%) 5,478	(16.2%) 7,807	3.3P	2,329
販売費及び一般管理費	(13.0%) 5,493	(12.1%) 5,807	5.7%	314
営業利益	(▲0.0%) ▲15	(4.2%) 2,000	4.2P	2,015
営業外損益	(0.7%) 288	(1.1%) 513	78.4%	225
経常利益	(0.6%) 272	(5.2%) 2,514	4.6P	2,241
特別損益	(0.6%) 272	(▲0.0%) ▲22	—	▲295
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(▲0.1%) ▲27	(2.7%) 1,306	2.8P	1,333

季節的変動の大きい業績動向



鉄道電気工事の実績

(単位:百万円)

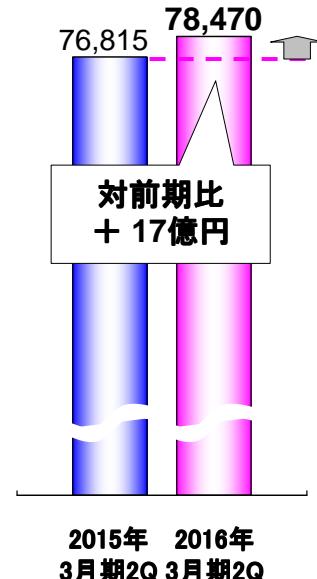
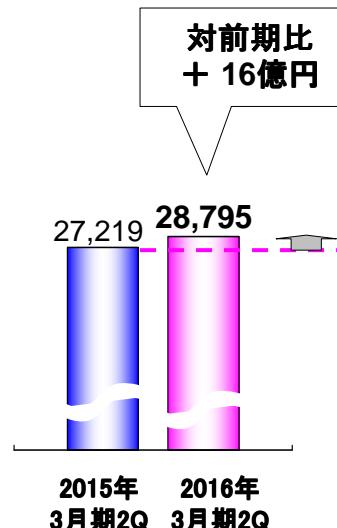
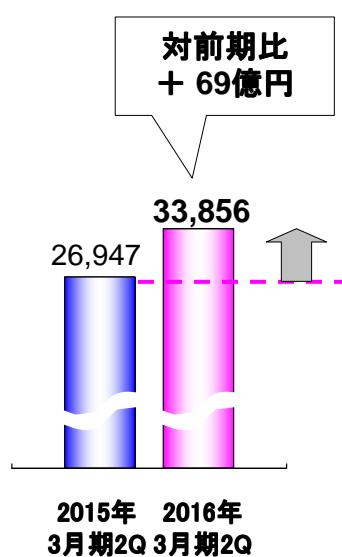
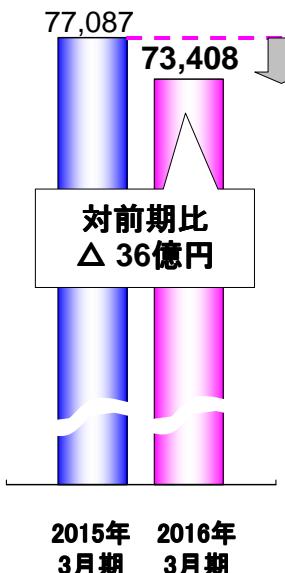
期首緑越工事高

受注高

売上高

営業利益

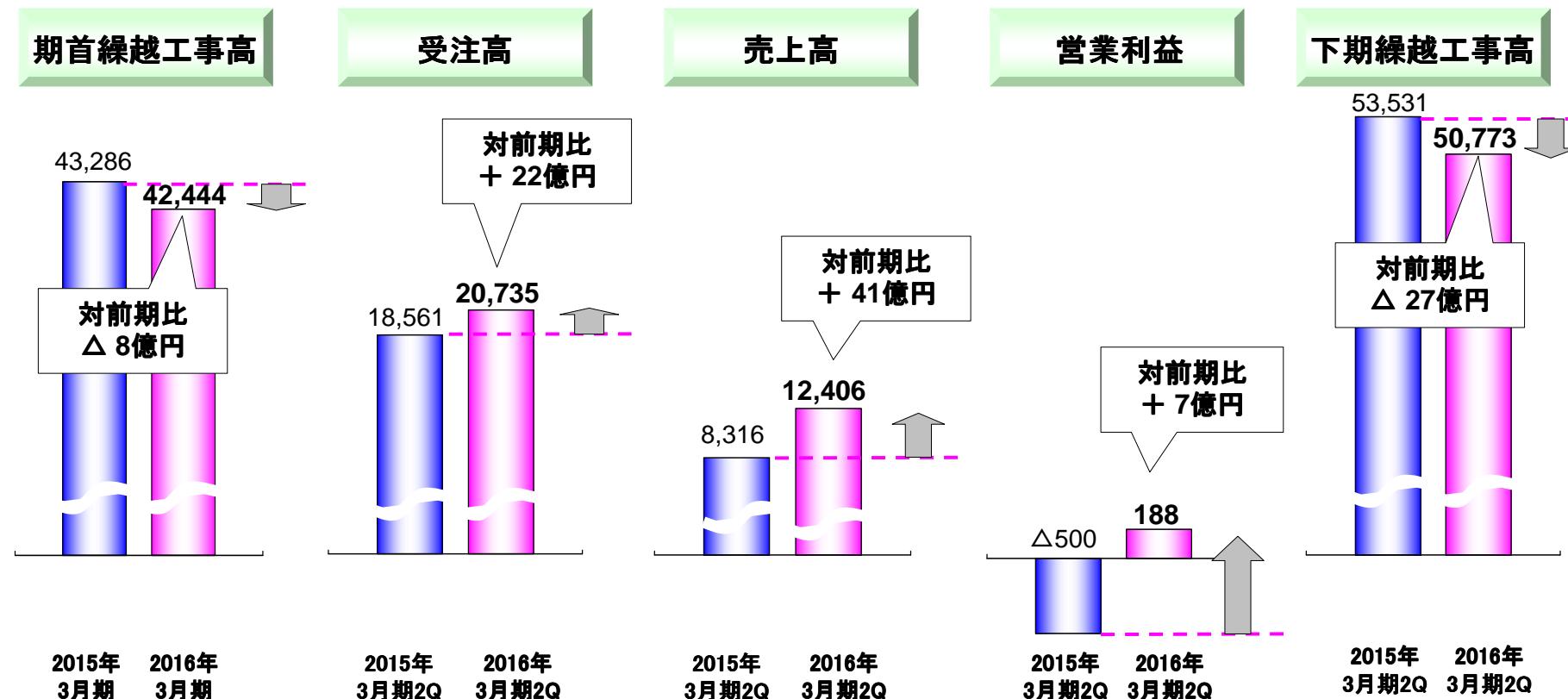
下期緑越工事高



- **受注高**: JR東日本および公民鉄事業者からの受注が増加したため、
対前年同期比大幅増
- **売上高**: 整備新幹線工事が減少したものの、JR東日本および民鉄事業者
からの売上が増加したため、対前年同期比増
- **営業利益**: 売上高が増加したことに伴い、対前年同期比増

一般電気工事の実績

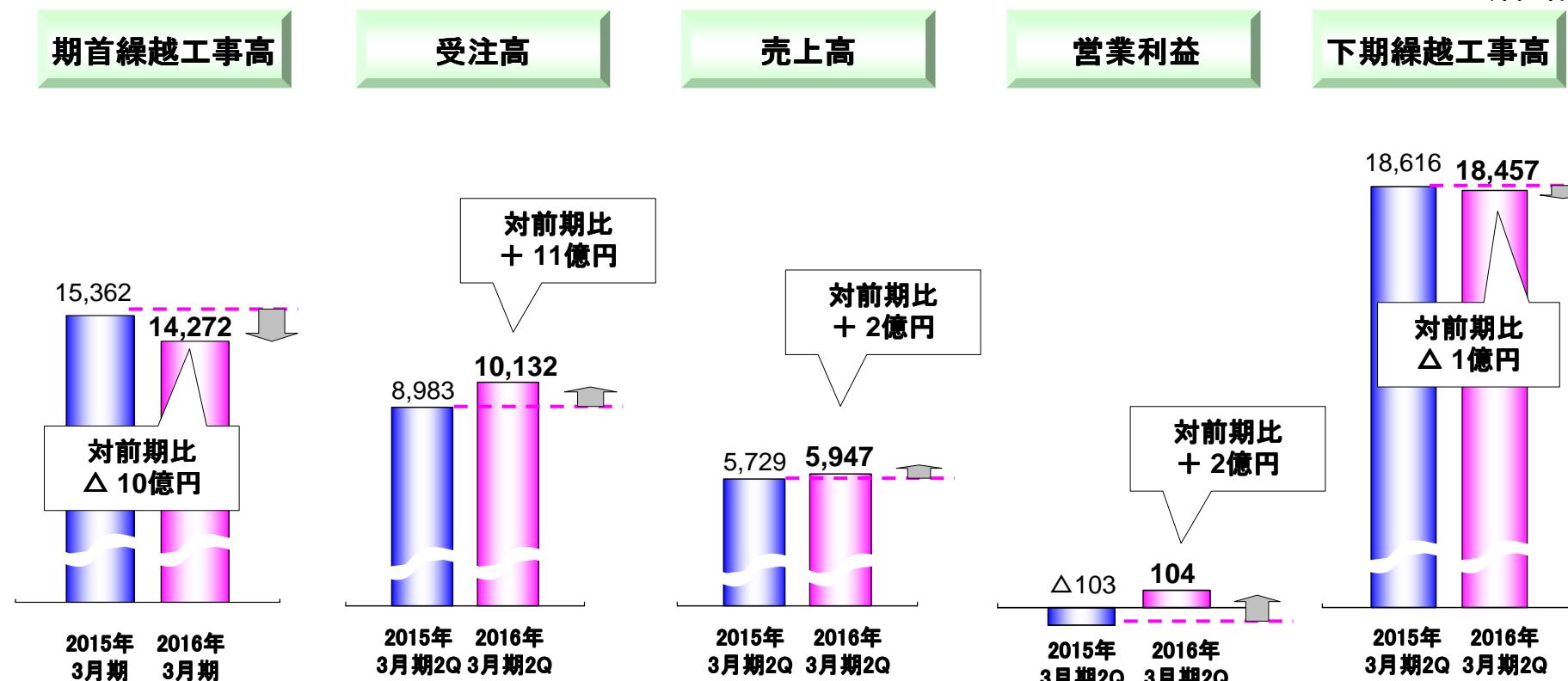
(単位:百万円)



- 受注高：民間の大型工事等の受注が増加したため、対前年同期比大幅増
- 売上高：前期からの豊富な緑越工事と大型工事が順調に完成したため、対前年同期比大幅増
- 営業利益：売上高の増加および工事採算性が向上したため、対前年同期比増

情報通信工事の実績

(単位:百万円)



- **受注高**: JR東日本および民鉄事業者からの受注が増加したため、対前年同期比増
- **売上高**: JR東日本からの売上が増加したため、対前年同期比増
- **営業利益**: 売上高の増加および工事採算性が向上したため、対前年同期比増

その他(関連事業等)の実績

(単位:百万円)

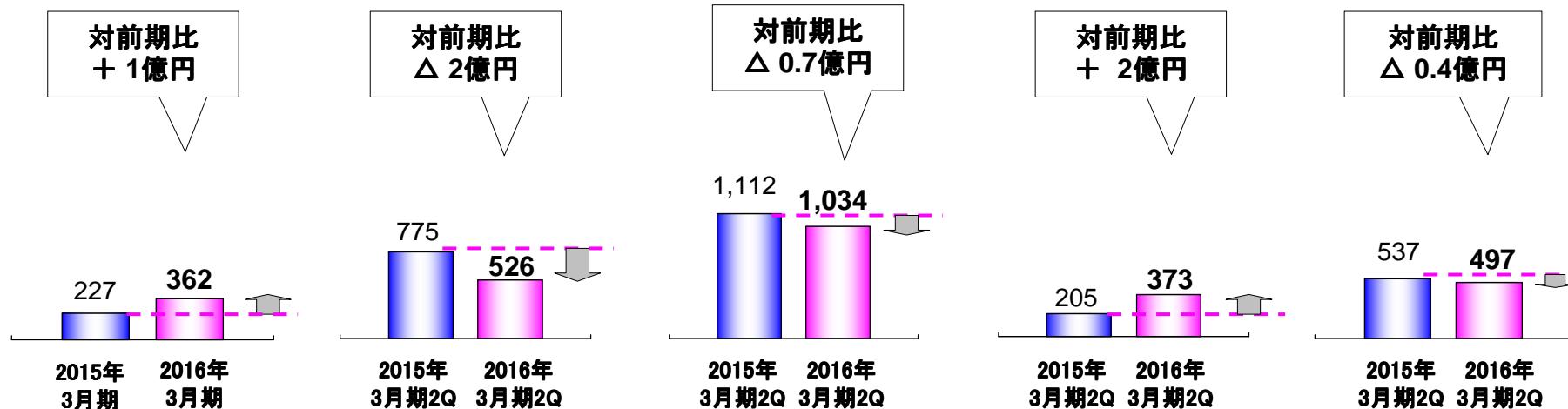
期首緑越工事高

受注高

売上高

営業利益

下期緑越工事高



■ 売上高: ソフトウェア開発の完成時期が下期に繰越したため、対前年同期比微減

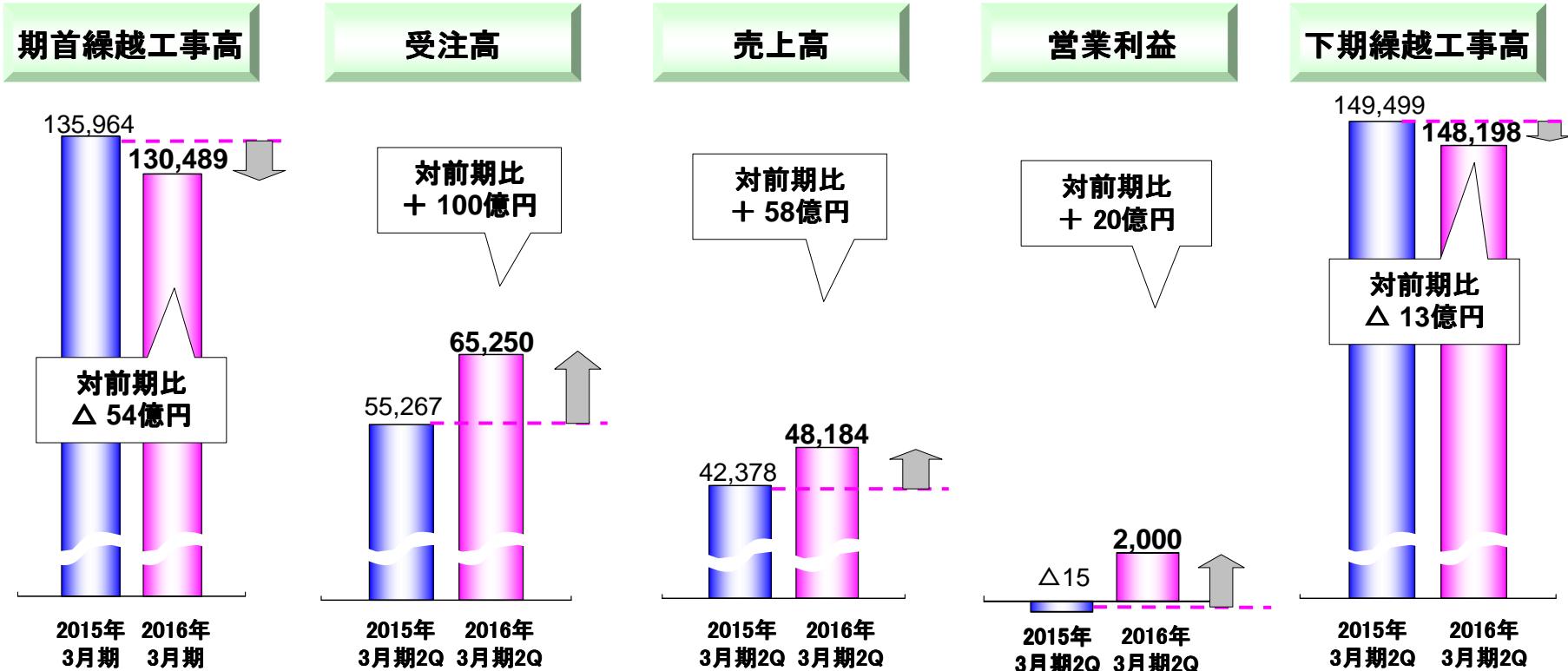
■ 営業利益: 収益率の高い不動産事業の売上増加および経費削減により、対前年同期比増

※「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等

※不動産の賃貸・管理等は、受注生産を行っていないため、「受注高」には金額が含まれていない

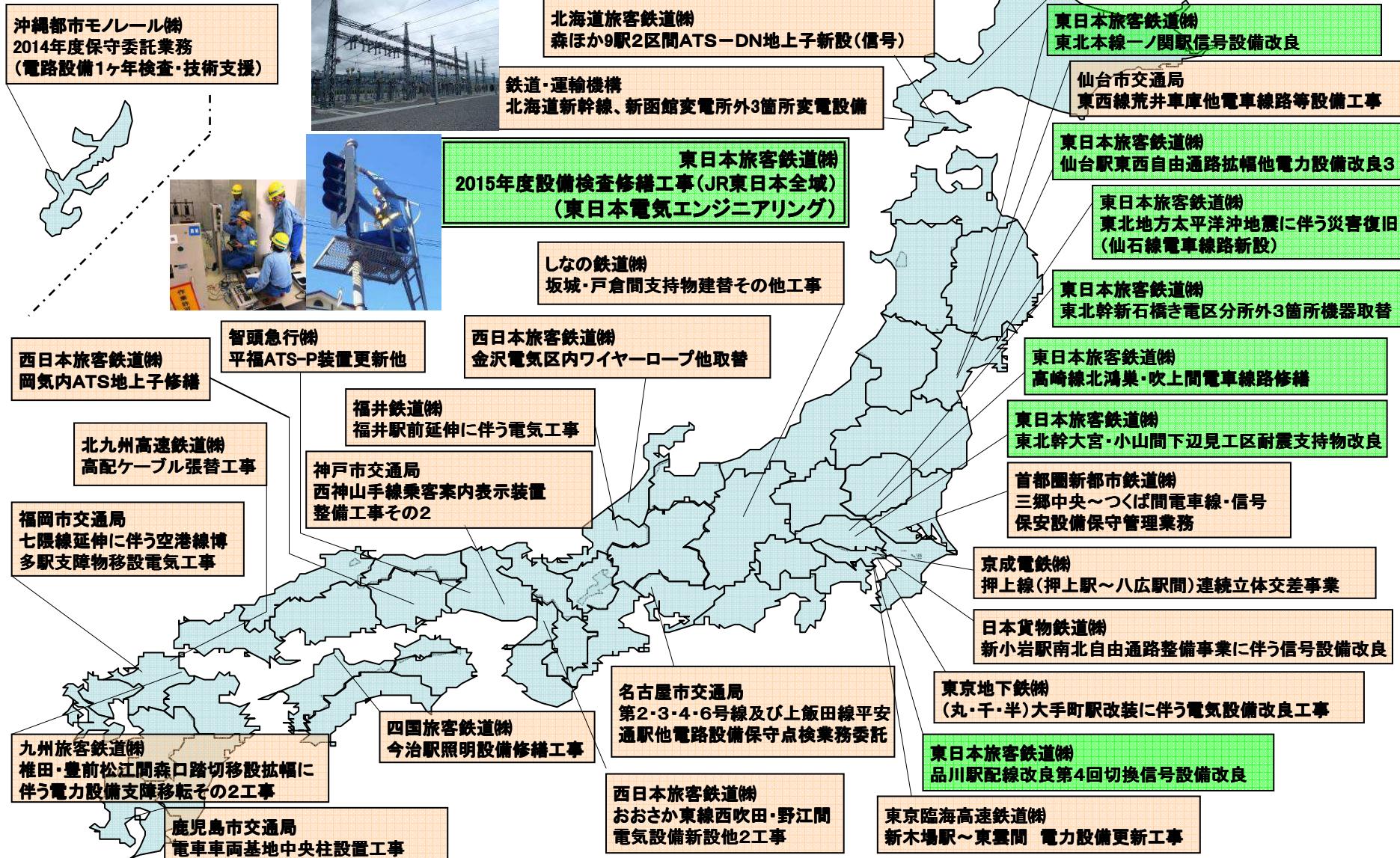
2016年3月期第2四半期実績

(単位:百万円)

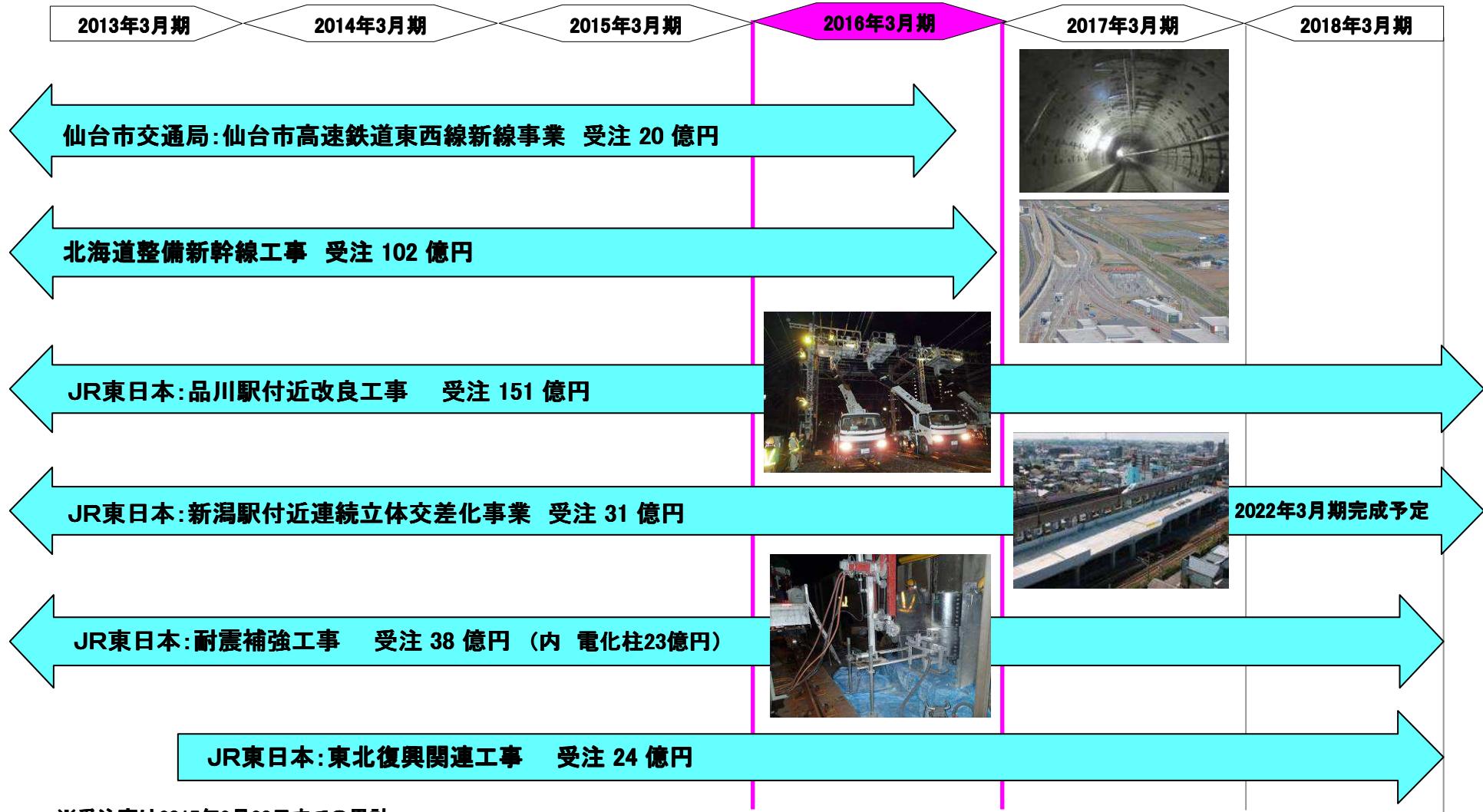


- **受注高**: 鉄道電気工事と一般電気工事が増加したため、対前年同期比大幅増
- **売上高**: 鉄道電気工事と一般電気工事の豊富な緑越工事が順調に完成したため、対前年同期比大幅増
- **営業利益**: 売上高の増加および工事採算性が向上したため、対前年同期比大幅増

●鉄道電気工事の主な施工実績



●大型プロジェクト工事



● 北海道整備新幹線工事

	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期 予想	合計
受注高	27	63	2	10	0	102
売上高	0	14	36	18	34	102

北海道新幹線は、2016年3月26日に開業が決定し、開業まで残すところあとわずかとなりました。
当社が担当している工事はほぼ完了しており、走行試験も最終段階にきています。



走行試験中



新函館北斗駅

※受注高および売上高には、情報通信工事分を含む

2016年3月期 第2四半期

● 公民鉄工事

	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期
受注高	32	27	18	40
通期	59	66	59	—
売上高	9	9	10	14
通期	41	50	52	—

全国の公民鉄事業者からの受注拡大に向けて、工事計画の情報収集と営業戦略の策定を行い、全国的に営業展開しています。



富山駅南北連絡事業
富山市HPより



東京地下鉄 駅設備整備事業
丸ノ内線 大手町駅改修工事
東京地下鉄HPより

●品川駅周辺地区整備事業の概要

品川車両基地の設備や車両留置箇所を見直し、約13ヘクタールの用地が創出される。当該用地について、まちづくりの検討が進められており、新駅設置が計画されている。

東海道線(上り)・山手線・京浜東北線が海側に移設されると、赤色部分に用地が創出される。

■当社の関わり

線路切換に伴い、次の工事を施工中

送電線：地中送電線路光ケーブル復旧
 電車線：電車線路新設他
 電灯電力：配電線路改良他
 信号号：信号設備改良他
 信 通：通信設備改良他



東日本旅客鉄道プレス資料より

2016年3月期 第2四半期

●新幹線電化柱耐震補強工事

■受注状況

	累計受注実績 (本数)	累計受注金額 (億円)
高じん性化	775	23
門型化	339	

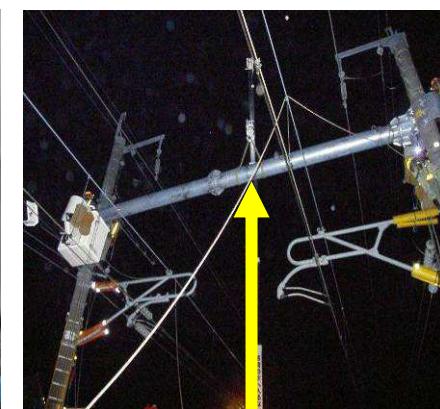
(2015年9月30日現在)

【高じん性化】



鋼板を電化柱に巻きつけて
補強する工法

【門型化】



ビーム(電化柱と電化柱を互いに支え合う設備)により倒壊防
止を図る工法

●一般電気工事の主な施工実績

(2015年9月30日現在)

中日本高速道路㈱ 金沢支社

東海北陸自動車 術腰トンネル他1トンネル電線路移設工事

(学法)佛教教育学園

佛教大学紫野キャンパス整備事業に伴う新棟建設工事(電気設備)

新関西国際空港㈱

2015年度関西国際空港照明器具更新工事(立体駐車場・空港駅他)

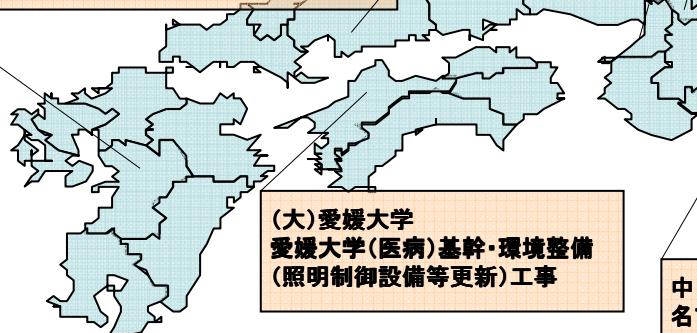


(福)三條会

特別養護老人ホーム鈴が峰空調設備改修工事

国土交通省 大阪航空局

熊本空港誘導路中心線灯改良その他工事



(大)愛媛大学

愛媛大学(医病)基幹・環境整備
(照明制御設備等更新)工事

仙台ターミナルビル㈱

エスパル山形・ホテルメトロポリタン山形総合防災盤他更新工事

(独)都市再生機構

宮城・福島震災復興支援
南三陸町志津川東(第1)地区災害公営
住宅建設工事(第1工区・第2工区)



東日本旅客鉄道㈱

JR水戸支社ビル(仮称)電気設備新設工事

東日本旅客鉄道㈱

JR千葉駅ビル防災センター電気設備新設工事

国土交通省

財務省本庁舎耐震改修(15)電気設備工事



名古屋市交通局

名駅変電所付帯電気設備工事(電気工事)

中日本高速道路㈱ 名古屋支社

名古屋第二環状自動車道上社IC～松河戸IC間
道路照明設備更新工事

●大型プロジェクト工事に参画

【東京都中央卸売市場豊洲市場
水産卸売場棟ほか建設電気設備工事】



2016年3月完成予定 (受注 59億円(JV総額))

【JR新宿ミライナタワー新築電気設備工事】



2016年3月完成予定 (受注 37億円(JV総額))

【神奈川県庁新庁舎改修及び増築工事(空調)】



2017年3月完成予定 (受注 18億円(JV総額))

2016年3月期 第2四半期

【大阪駅前第2ビル 特高受変電設備改修工事】



2018年8月完成予定 (受注 13億円)

●主な施工実績 (2015年9月30日現在)



東日本旅客鉄道プレス資料より

太陽光発電
福岡日信電子株
姪浜事務所屋上、貝塚駅ホーム屋根上
太陽光発電
(福岡市交通局施設より屋根貸し)

太陽光発電
新宮町
新宮北小学校太陽光発電

太陽光発電
シャープ株
糸原太陽光発電所

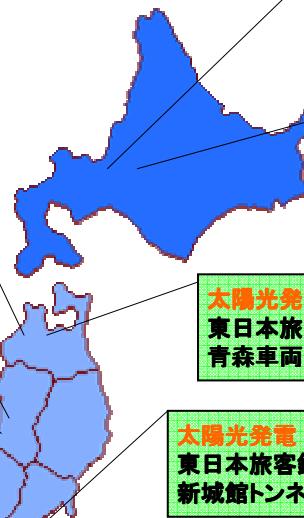
太陽光発電
伊藤組土建株
宮崎県国富町太陽光発電

風力発電
地域エネルギー開発株
諫ヶ沢大高山風況観測設備

太陽光発電
東日本旅客鉄道株
旧秋田運転支所

風力発電
東日本旅客鉄道株
羽越本線道川～下浜間風力発電所設備

太陽光発電
シャープ株
八百津町潮見メガソーラー



太陽光発電
伊藤組土建株
㈱グローバル札幌市東区北丘珠太陽光発電所

太陽光発電
伊藤組土建株
TOHOピクス㈱岩見沢市岡山太陽光発電所

太陽光発電
東日本旅客鉄道株
青森車両センター

太陽光発電
東日本旅客鉄道株
新城館トンネル上部

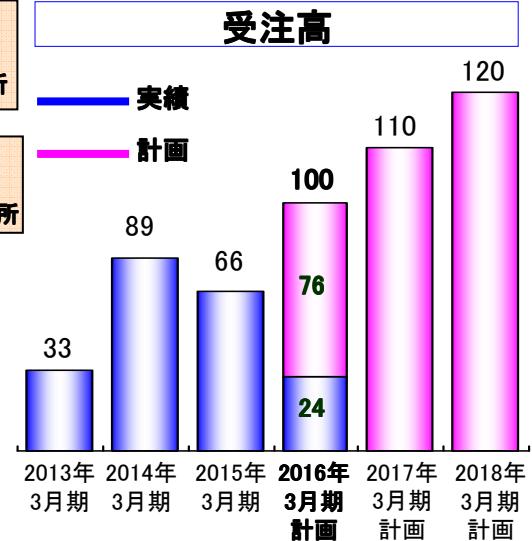
太陽光発電
シャープ株
鹿沼市富岡太陽光発電所

太陽光発電
シャープ株
京成電鉄ちはら台太陽光発電所

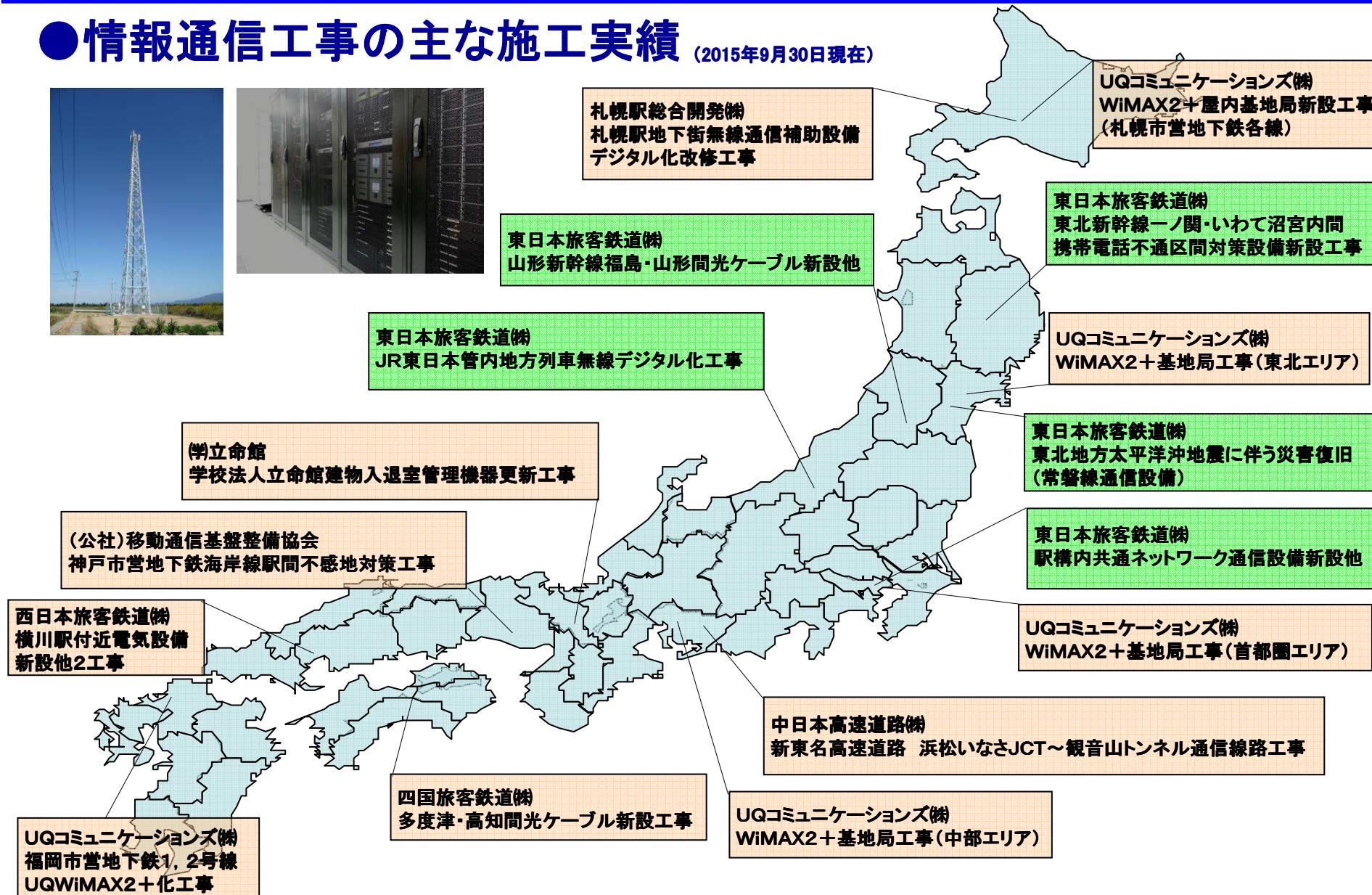
太陽光発電
シャープ株
シャープいなべ太陽光発電所

太陽光発電
宇多津町
宇多津小学校太陽光発電
宇多津北小学校太陽光発電
宇多津中学校太陽光発電

(単位:億円)



●情報通信工事の主な施工実績 (2015年9月30日現在)



●駅トラフィック対策

駅において急増する携帯電話のデータ通信量(トラフィック量)に対応すべく、JR東日本主要駅およびトンネル区間のトラフィック対策工事に調査・設計段階から参画し、順次施工中

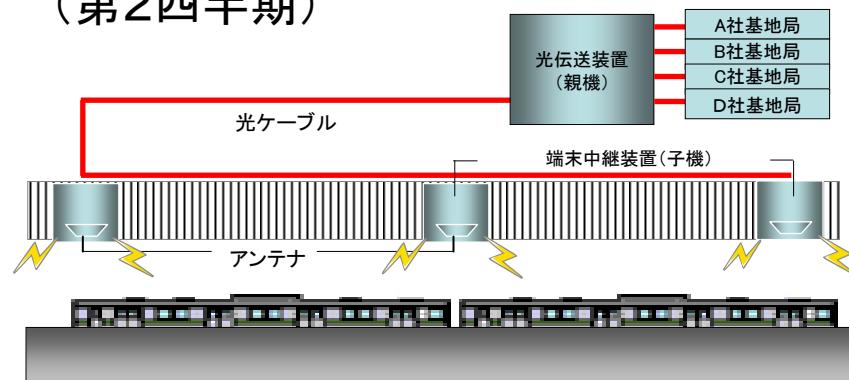
【施工実績 駅数】

2014年3月期 6駅(東京駅他)

2015年3月期 10駅(渋谷駅他)

【受注実績 駅数】

2016年3月期 4駅(上野駅他)
(第2四半期)



2016年3月期 第2四半期

●新幹線トンネル不感地対策

新幹線のトンネルにおいて、電波が遮へいされ携帯電話などが使用できない場所に、移動通信用中継施設等を設置して、携帯電話を利用可能とする工事を受注し施工

【携帯電話利用可能区間】

東北新幹線

受注高 74億円

※受注高は2008年3月期から
2015年3月期までの累計



関連事業の概況

●保有不動産を有効活用した 賃貸マンション・賃貸オフィス事業

全国の主要都市で17棟・326戸の賃貸
マンションを運営(入居率96%)



ロータス宇都宮(栃木県宇都宮市)
2015年5月完成



ロータス中津(大阪府大阪市)
2016年1月完成予定

●新規事業

市場のニーズを捉えた新規案件の開発

- ・保有不動産の地域特性を活かした新たな価値の創造
- ・Webサイトによる新規販売商品の開発

●建築設備事業の拡大 特定建設業許可取得により 大型工事の受注拡大

(NDK総合サービス株)



機新陽社 多摩境テクノセンター
本館改修工事(東京都)

●太陽光発電事業の運営

設置場所	北海道 白老町	栃木県 宇都宮市	神奈川県 平塚市
設置面積	25,773m ²	430m ²	520m ²
発電規模	1,250kW	37.5kW	36.0kW
設備投資額	360百万円	13百万円	12百万円
事業開始	2013年11月	2014年7月	2015年12月予定

2015.3	計 画	25,417kWh	35,513kWh
実 績	1,802,271kWh	30,318kWh	—
売 上 高	72百万円	1百万円	—



日本電設白老町川沿ソーラーファーム



NDK宇都宮ビル屋上

●機械化施工の推進

【重量物トラフ運搬・施工用アタッチメント】（鉄道電気）



【三段式スライドブーム 吊り装置】

【特許出願中】

トラフの蓋を吸引力により持ち上げて運ぶことで、作業員の負担を軽減し、積み下ろし作業の効率化を図ることができる



【バキューム式 吊り具】



（100kgまで吊り上げ可能）

●作業の安全

【極性チェックカーナー】（情報通信）



直流電源端子の極性が
容易に確認でき、装置
の短絡防止に非常に効
果的である

●作業の安全

【補助ロープ装着支援装置(プラットホーム用)】(鉄道電気)



高所作業車作業台



【特許出願中】

作業台上の作業員が補助ロープを確実に着用しているかを、地上の作業責任者がランプの色で確認することができる

装着時 → 緑色

●効率化の推進

【照度測定効率化のための照度計】(一般電気)



広範囲な箇所の照度測定を一度に効率よく行うことができる

【骨伝導マイクおよびスピーカ】(鉄道電気)



骨伝導システムを使用することで、作業の騒音にじゃまされずに明瞭な会話が可能となる

■「日本電設3ヶ年経営計画2015」重点実施テーマ

4つの重点実施テーマの着実な実施により、当計画の初年度として経営目標を達成し持続的成長を目指す。

- ・ 組織力・技術力向上による経営基盤の強化
- ・ 人材の確保と育成による人間力向上
- ・ 技術開発と業務改善の推進
- ・ NDKグループの総合力向上

■2016年3月期各部門の主な取り組み

鉄道電気工事

JR東日本への対応強化、全国JRグループや新たな公民鉄事業者(新業種含む)への積極的な営業展開

一般電気工事

常連顧客への提案営業強化、再生可能エネルギー関連工事、空調衛生工事の受注拡大

情報通信工事

JR東日本の駅トラフィック・新幹線トンネル不感地対策工事の対応強化、ネットワーク工事の新たな営業戦略による受注拡大

関連事業

賃貸マンション事業の拡大、新規事業の創出、既存事業の収益拡大

「日本電設3ヶ年経営計画2015」



(単位:億円)

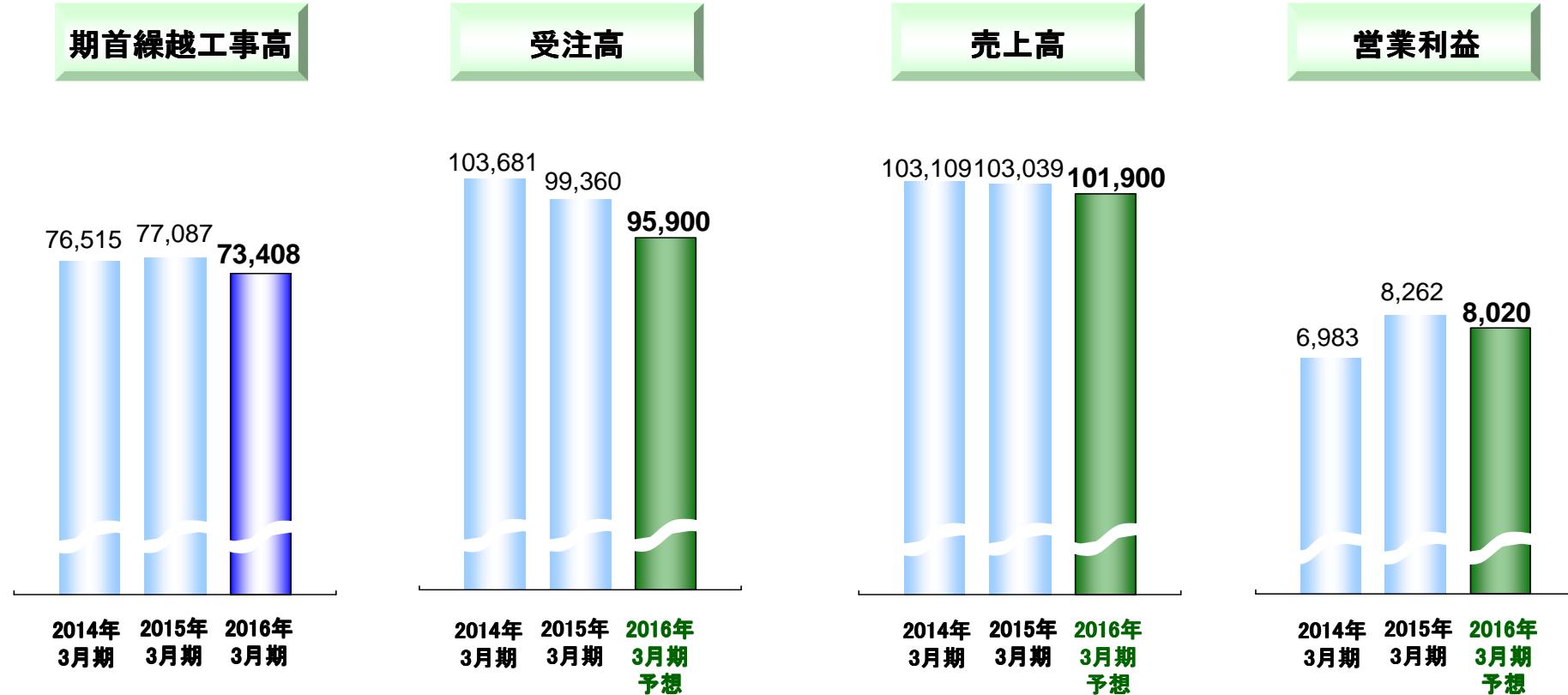
	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
受注高	1,711	1,801	1,904
売上高	1,777	1,822	1,892
営業利益	135	143	149
経常利益	143	151	157
営業利益率	7.6%	7.8%	7.9%
経常利益率	8.1%	8.3%	8.3%

※2016年3月期の業績予想は、2015年5月25日に公表している業績予想から修正しておりません。

今後の発注動向等により業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表します。

鉄道電気工事の予想

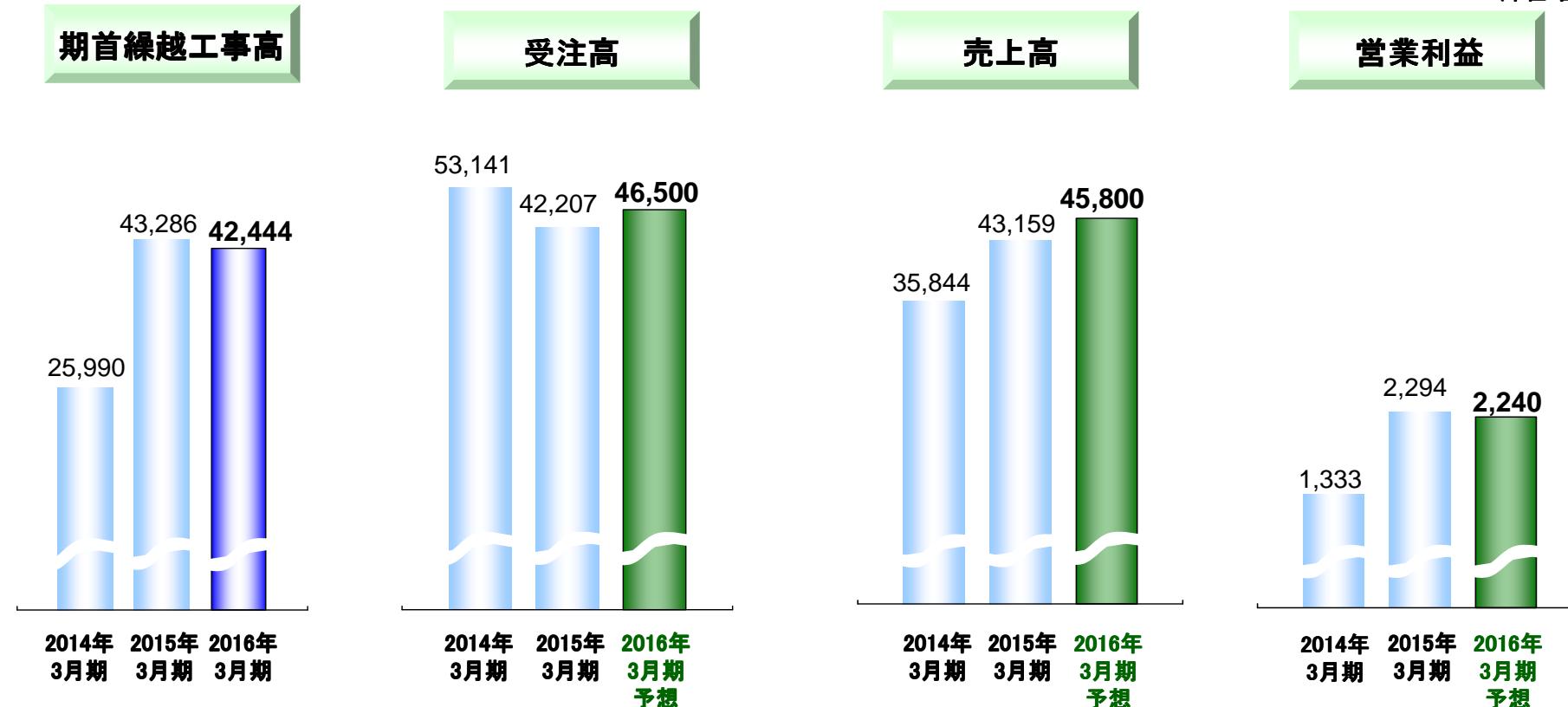
(単位:百万円)



- **受注高**: JR東日本の通期受注高は確保の見通し
公民鉄事業者に対して積極的に営業を展開し受注を確保
- **売上高**: JR東日本発注工事や公民鉄工事など豊富な手持工事を確実に施工することで売上高を確保
- **営業利益**: 効率的な施工の推進により工事採算性を向上し利益を確保

一般電気工事の予想

(単位:百万円)



■受注高：受注環境の改善を背景に民間工事や再生可能エネルギー関連工事(太陽光・風力)の受注は引き続き好調を維持

■売上高：豊富な手持工事の確実な施工により売上高を伸ばす

■営業利益：売上高増と工事採算性の向上により利益を確保

情報通信工事の予想

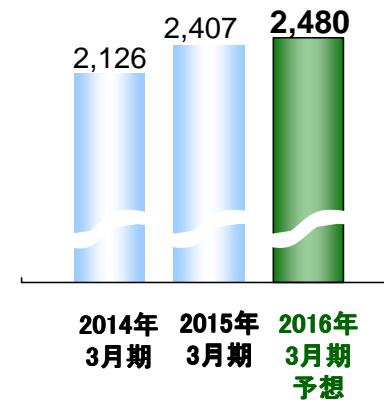
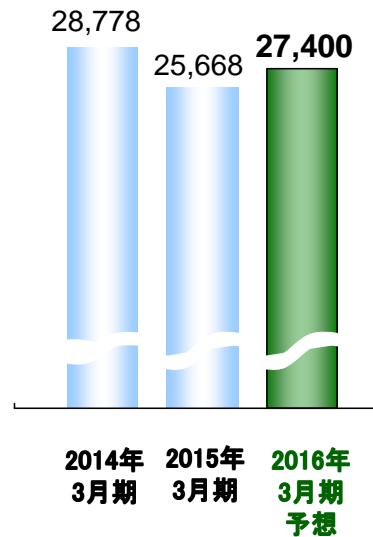
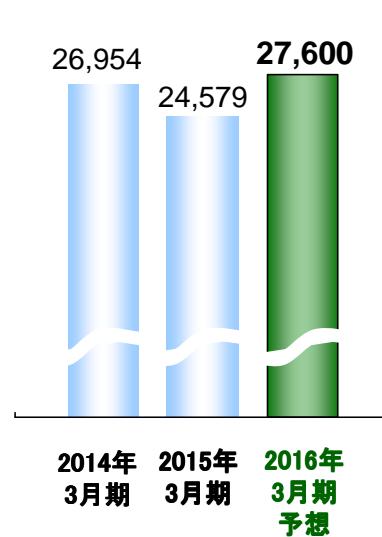
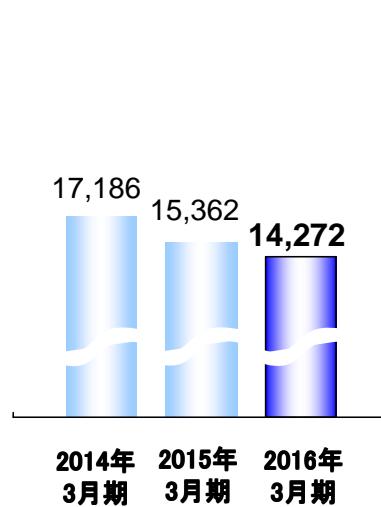
(単位:百万円)

期首緑越工事高

受注高

売上高

営業利益



- 受注高：移動体通信事業者からの受注の減少が見込まれるが、JR東日本の駅トラフィック対策工事等の受注確保に注力
- 売上高：施工要員の効率的な運用と、確実な施工により売上高を確保
- 営業利益：効率的な施工の推進により利益を確保

その他(関連事業等)の予想

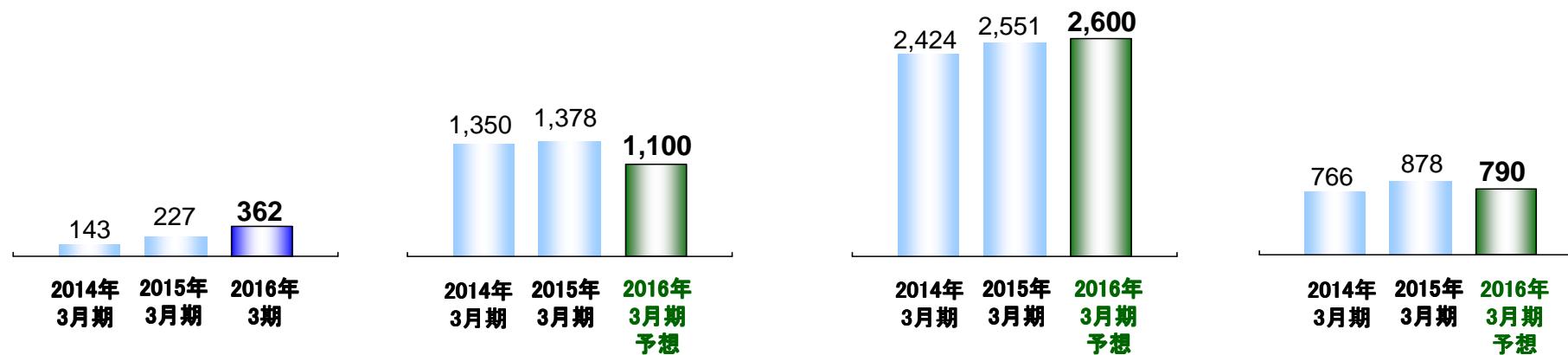
(単位:百万円)

期首緑越工事高

受注高

売上高

営業利益



■ 売上高：賃貸マンション事業の拡大、新規事業の創出により
売上高を確保

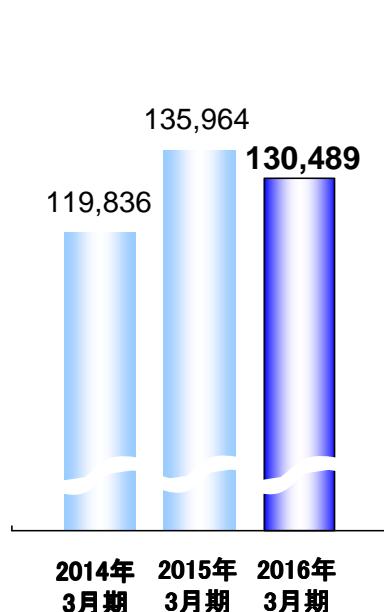
※「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等

※不動産の賃貸・管理等は、受注生産を行っていないため、「受注高」には金額が含まれていない

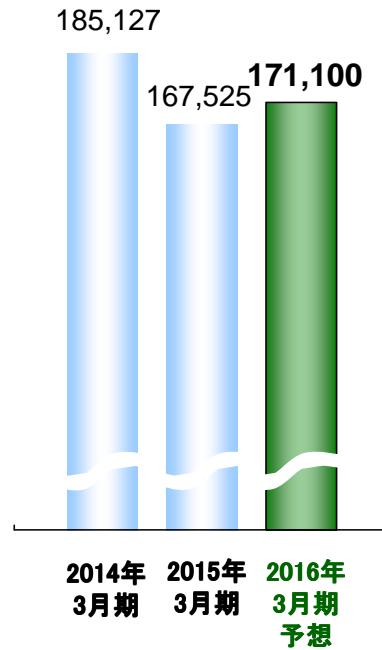
2016年3月期業績予想

(単位:百万円)

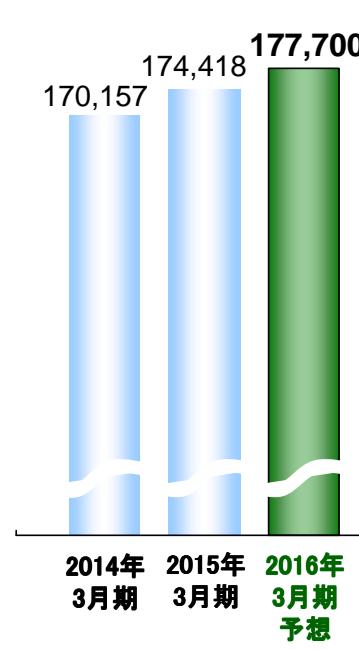
期首繰越工事高



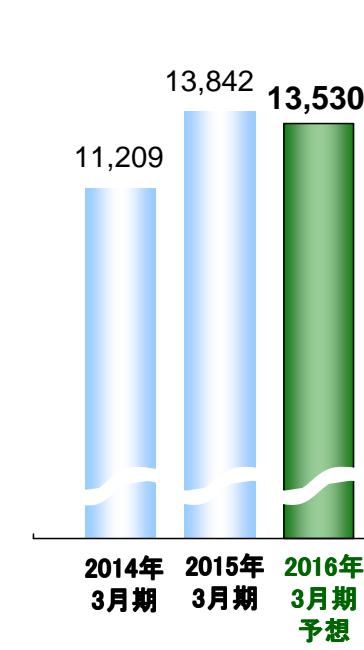
受注高



売上高



営業利益



- 今期第2四半期までは通期業績予想に対して順調に推移しており、受注高と売上高を確保し、営業利益については通期業績予想の達成を目指す

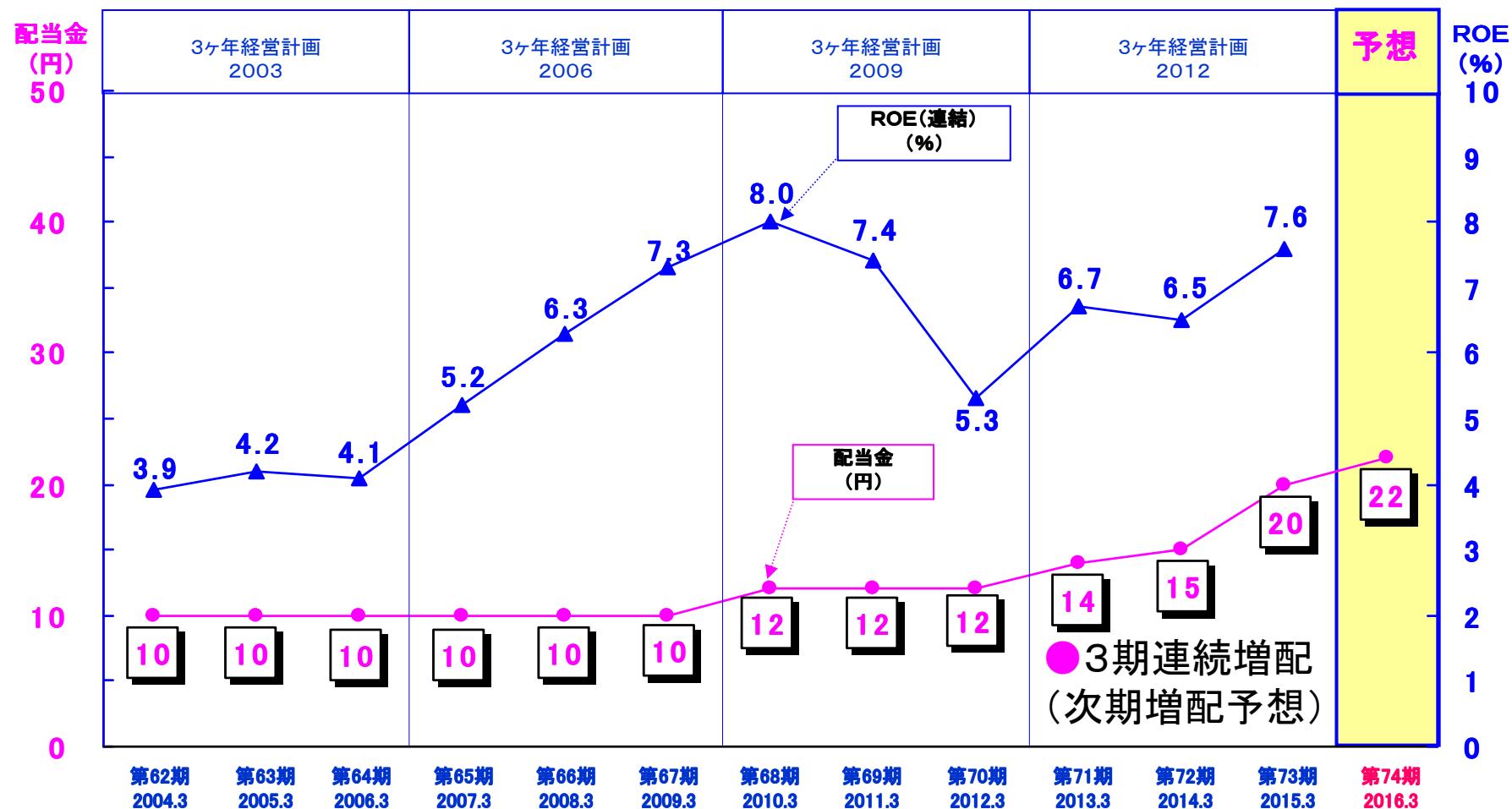
2016年3月期業績予想

()は売上高比率 (単位:百万円)

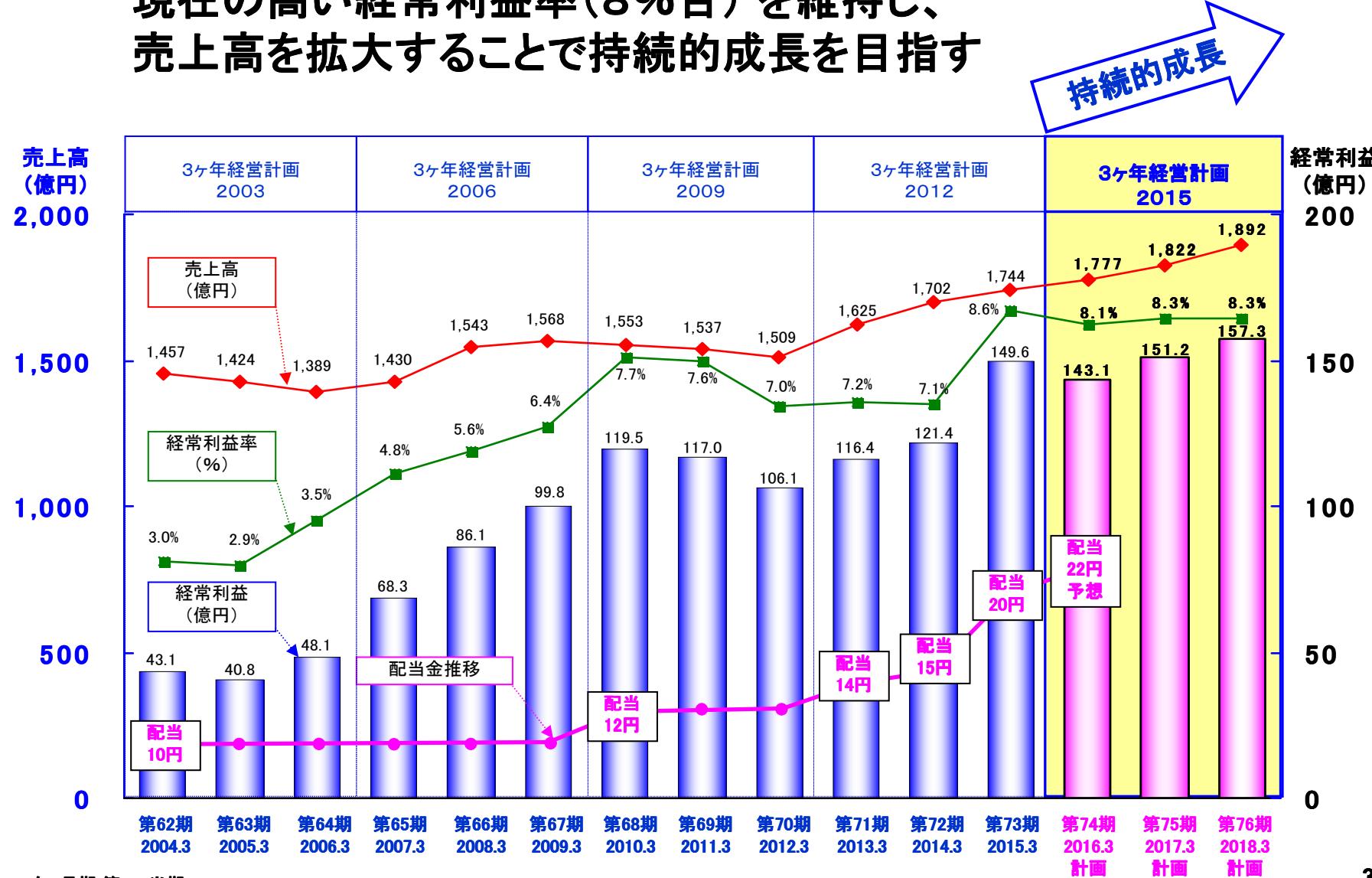
	2015年3月期	2016年3月期予想	対前期比
前期繰越工事高	135,964	130,371	▲4.1% ▲5,592
受注高	167,525	171,100	2.1% 3,574
売上高	174,418	177,700	1.9% 3,281
次期繰越工事高	130,371	125,184	▲4.0% ▲5,187
営業利益	(7.9%) 13,842	(7.6%) 13,530	▲0.3P ▲312
経常利益	(8.6%) 14,955	(8.1%) 14,310	▲0.5P ▲645
親会社株主に帰属する 当期純利益	(4.9%) 8,595	(4.8%) 8,600	▲0.1P 4

●利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様への利益還元を重要課題と認識し、利益配分については、企業体质強化のための内部留保や配当性向にも配意しつつ、株主の皆様へ安定した配当を行うことを基本方針としております。



現在の高い経常利益率(8%台)を維持し、
売上高を拡大することで持続的成長を目指す



本資料で記述しております予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後のさまざまなりスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は本資料における予想と異なる可能性があることをご承知おきください。

【お問い合わせ】
日本電設工業株式会社 広報部

〒110-8706 東京都台東区池之端1丁目2番23号
TEL: 03-3822-8825
FAX: 03-3822-8960
URL <http://www.densetsuko.co.jp/>